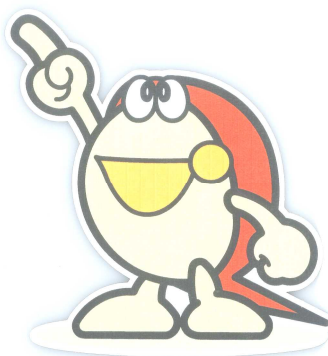


令和7年度

教育行政実施計画

～重点施策～



笠岡市教育委員会

目 次

基本理念・基本方針	1
施策体系	2

重点施策

重点施策・主要事業

重点1 自立した子どもの育成	3
重点2 共生の心の育成	4
重点3 郷土愛の育成	5
重点4 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供	6
重点5 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援	7
重点6 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成	8
重点7 競技スポーツの推進	8

基本施策

基本施策・主要事業

1 自立した子どもの育成	9
2 共生の心の育成	10
3 郷土愛の育成	12
4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施	13
5 学校施設等の整備	14
6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供	15
7 生涯学習によるまちづくり	16
8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援	17
9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援	18
10 文化財の保護・活用	19
11 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実	20
12 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成	21
13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営	22
14 生涯スポーツの推進	23
15 競技スポーツの推進	24
16 スポーツ施設の整備・充実と活用	25

令和7年度教育行政実施計画

基本理念 ～ 学ぶ楽しさ 輝く個性 生き抜く力 ～

基本方針

「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進【学校教育】

子どもたちが自己の夢の実現に向け、一人の自立した人間として努力しながら積極的に様々なことに挑戦し、他者と協働しながら自信をもって生きていくことができるよう、義務教育9年間を見通し、系統性・連続性に配慮した教育活動を行い、指導の一貫性を確保しながら「自立と共生を目指した『たい!』のあふれる学校教育」を推進します。

市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進【生涯学習】

市民が多種多様な学習機会を得て個人の成長や自己実現を図ることのできる環境を整備します。

また、その学習成果を発信できる機会を提供するとともに、家庭・地域・学校・関係団体等における人と人のつながりを深めることにより、活力ある地域社会の生成を目指します。

幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成【文化・芸術】

市民が文化に親しみ、文化・芸術活動に参加できる環境づくりに取り組むとともに、担い手の育成を行います。

また、歴史や自然を大切に守り、次の世代へと継承するよう努めます。

誰でも気軽に楽しめる生涯スポーツの振興【スポーツ】

年齢や性別、障害の有無にかかわらず、誰もがいつでも、どこでも運動やスポーツを楽しめる環境の整備に努めます。また、従来の種目に加えニュースポーツなど誰でも気軽に楽しめるスポーツの普及を推進します。



取 り 組 む べ き 施 策				重点施策： ☐
基本 理念	施策項目 (総合計画)	基本方針	基本施策	
学 ぶ 楽 し さ 輝 く 個 性 生 き 抜 く 力	学校教育の充実	「学び」「育ち」をつなぎ自立して共に生きる子どもを育てる学校教育の推進	1	自立した子どもの育成
			2	共生の心の育成
			3	郷土愛の育成
			4	小中一貫教育及び学校規模適正化の実施
			5	学校施設等の整備
	生涯学習の推進	市民一人ひとりの豊かな学びにより地域力を高める生涯学習の推進	6	市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供
			7	生涯学習によるまちづくり
			8	家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援
			9	社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援
	歴史の継承・文化の振興・カブトガニの保護と活用	幅広い世代が楽しめる文化・芸術の振興と担い手の育成	10	文化財の保護・活用
			11	竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実
			12	芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成
			13	カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営
	スポーツの振興	誰でも気軽に親しめる生涯スポーツの振興	14	生涯スポーツの推進
			15	競技スポーツの推進
			16	スポーツ施設の整備・充実と活用

令和7年度教育行政主要事業

笠岡市教育振興基本計画を推進するために、令和7年度に笠岡市教育委員会が実施する主要事業について示します。笠岡市教育振興基本計画に掲げる基本施策のうち、本年度、重点的に推進する施策を重点施策と位置付けています。

重点施策及び基本施策の主要事業については、翌年度、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第26条に基づく点検・評価を行い、その結果に関する報告書を作成し、これを議会に提出するとともにホームページ等により公表します。

重点施策

重点1 自立した子どもの育成

子どもたちが夢や目標をもち、自ら課題を見つけてその解決に主体的に取り組む力を養うことができるよう、主体的・対話的で深い学びの実現を図り、学習に主体的に取り組む意欲や学んだことを活かそうとする態度の育成を図ります。また、個に応じたきめ細やかな学習方法の工夫・改善により、学ぶ意欲の向上を図ります。

主体的な学びの基盤づくり事業【継続】

児童生徒の学習に対する意欲・関心を高め、学習習慣の定着を図るために、放課後、夏季休業中に学習の場を提供することで、学習内容の確実な定着を図り、児童生徒の学力向上に資する。

- ・主体的な学びの基盤づくり事業：希望小・中学校で実施（児童生徒の補充的な学習を行う場を放課後等に提供）

令和7年度目標：全ての小中学校で補充的な学習の場をもつ

（事業費：1,448千円、担当課：学校教育課）

ICT支援員配置事業【継続】

ICTを効果的に活用した授業が行われるように、ICT支援員を約10名配置する。

- ・授業中の児童生徒に端末の操作を支援する。
- ・教職員に教材や実践事例を紹介する。ICT活用のための校内研修などを行う。

令和7年度目標：ICT支援員全校配置

（事業費：36,090千円、担当課：学校教育課）

外国語指導助手配置事業【継続】

児童生徒の外国語に対する関心を高め、国際理解等に係る認識を醸成することを目的に、生きた英語に触れる機会を確保することで、コミュニケーション能力の向上を図る。

- ・外国語指導助手を8名、こども園・幼・小・中学校へ配置する。
- ・幼児が英語に触れる機会の設定（就学前・小連携の中で英語活動の実施）。

令和7年度目標：ALT全校・園配置

（事業費：41,870千円、担当課：学校教育課）

A I教材整備事業【継続】

G I G Aスクール構想で整備した学習者用端末を効果的に活用できるA I教材を全児童生徒に導入し、その蓄積されたデータ等を適切に活用することで、個に応じた学習支援につなげる。

令和7年度目標：児童生徒のA I教材平均活用率50%以上

(事業費：5,085千円、担当課：学校教育課)

学習者用端末更新事業【新規】

G I G Aスクール構想により導入した学習者用端末（クロームブック）を更新する事業。令和6年度から令和10年度までの5年間で市内すべての学習者用端末を更新する予定にしている。

・令和7年度目標：学習者用端末（クロームブック）560台（予定）

重点1 令和7年度目標

・全国学力・学習状況調査の全国平均正答率との差（国語、算数・数学の合計）

令和6年度：小……5ポイント 中……6ポイント

令和7年度目標：小…±0ポイント 中…±0ポイント

・「授業では課題の解決に向けて自分で考え自分から取り組んでいた」児童生徒の割合

(当てはまると回答した割合)

令和6年度：小24.2% 中32.2%

令和7年度目標：小27.5% 中35.0%

・「学級の友達との間で話し合う活動を通じて自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができている」児童生徒の割合(当てはまると回答した割合)

令和6年度：小39.1% 中45.5%

令和7年度目標：小42.5% 中47.5%

重点2 共生の心の育成

子どもたちの豊かな人間性や社会性を育むとともに、多様な学び方や場の確保、特性等を踏まえた合理的配慮等を行い、すべての子どもが安心して学べる教育環境を実現する。また、いじめ、不登校、問題行動の未然防止、早期発見、早期解決に取り組み、子どもたちの好ましい人間関係づくりを推進する。

笠岡市教育活動支援事業【継続】

支援員を配置することにより、支援を必要とする児童生徒に適切な学習環境を提供するとともに、教職員が一体となった支援を行うことで教育活動の充実を図る。

令和7年度目標：小中41名配置

(事業費：57,201千円、担当課：学校教育課)

転入学特別制度事業【継続】

豊かな自然環境や少人数の中での教育活動を特色とした小・中学校を指定し、その教育方針に賛同する児童生徒並びに保護者に対して、特別に入学又は転入学を認めることにより、特色ある学校生活を送ることができるようにする。

令和7年度目標：本事業の広報活動（小学校へのチラシ配布、HPへの掲載）

いじめ・不登校対策総合推進事業【継続】

新たな不登校を生まない取組を強化するとともに、すでに登校困難となっている児童生徒に対して居場所を確保し、総合的な取組を展開する。

・笠岡市総合教育相談支援センター：

嘱託4名 カウンセラー3名 特別支援教育巡回相談員1名 非常勤支援員1名 配置

・飛島相談室開設：笠岡市総合教育相談支援センターと飛島学園が連携し、笠岡市内の不登校・ひきこもり等、学校に行きづらさを感じている児童生徒の心身の健康を回復することを目的とする。

・スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーの市内全小中学校へ配置

スクールカウンセラー 12名（学校訪問のべ1,000時間）

スクールソーシャルワーカー 3名（学校訪問のべ1,600時間）

・小・中学校における不登校の出現割合（問題行動・不登校等調査）

小学校 -12.7ポイント 中学校 -43.5ポイント

（令和5年度 全国平均値（児童生徒1千人あたり）との差）

令和7年度目標：全国平均値との差 -10ポイント以上（目標値）

（事業費：17,550千円、担当課：学校教育課）

重点3 郷土愛の育成

学校運営協議会や学校評議員会を通して、地域住民や保護者の意見や助言を学校運営に生かすと共に、地域人材バンクや地域学校協働本部事業の活用を図るなど、地域ぐるみで子どもの教育を推進する体制づくりに取り組みます。また、笠岡の自然、文化、人物等の良さを見つめる学習を通して、ふるさとへの愛着と誇りを醸成するため、小中一貫教育の取組の中で、キャリア教育の視点を大切に「地域学」を実践し、その中で、子どもたちが様々な交流活動や地域探究活動、体験活動等を通して、人々の思いや願い、互いの良さを認め尊重しながら、授業で学習した内容を活かし、他者と協働して身近な課題を解決しようとする力の育成を図ります。

コミュニティースクール事業【継続】

地域住民及び保護者等の学校運営への参画等を進めることにより、学校と家庭、地域住民等の相互の信頼関係を基に教育力を高め、子どもたちの豊かな学びと育ちを実現する。

「コミュニティースクールや地域学校協働活動等の取組によって、学校と地域や保護者の相互理解は深まりましたか」に「そう思う」と回答をした学校の割合（全国学力・学習状況調査）

令和6年度 小学校 30.8% 中学校 85.7%

令和7年度目標：小学校 100% 中学校 100%

ひろがる未来応援事業【継続】

交流活動や地域探究活動、体験活動等を通して、人々の思いや願い、多様な考えに触れ、互いの良さを認め尊重し合いながら、自らの生き方を考えたり他者と協働して身近な課題を解決しようとする子どもを育てる。

令和7年度目標：全校実施

（事業費：3,915千円、担当課：学校教育課）

いきいきチャレンジたいけん事業【継続】

中学生が地域の事業所において、職場の方々とのふれ合いや活動をとおして、社会人としての責任や苦勞、仕事の大切さやルール等について学び、主体的に自らの生き方や進路を選択していこうとする意欲や態度を育成する。

令和7年度目標：「いきいきチャレンジ体験は充実していた」（生徒アンケート）95%

（事業費：159千円、担当課：学校教育課）

重点４ 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

市民に多様な学習機会を提供するとともに、公民館や図書館等の社会教育施設の利用促進を図るため、各施設の環境整備・サービスの充実を図ります。

- ・図書館においては、誰もが利用しやすい読書環境の整備や、ニーズに合った図書や読書バリアフリーの拡充等、サービスの充実を図ることで、総貸出者数の増加につなげます。
- ・公民館、サンライフ笠岡、老人福祉センター等での講座をはじめ、市民団体等が自主的に行う学習等を支援し、市民が学ぶ機会の充実を図ります。
- ・市民ニーズを把握し、ニーズに応じた講座を新設する等、学習内容を充実します。さらに、ホームページやSNS等を活用し、学習情報を広く提供します。

公民館等講座【継続】

講座を通じて、地域住民が気軽に集い、学び、多くの人と交流することによって、心豊かで潤いのある人生を送ることができる。

- ・新しい知識、技術を習得できるように、市民のニーズにあった講座を開催する。

令和７年度中央公民館講座：主催講座 ４講座

自主講座 ４４講座

令和７年度２０地区公民館講座： ３０４講座（令和６年度実績数）

令和７年度目標：講座数 ３１０講座

中央公民館講座生数 ６００人

（事業費：１，５４９千円〔中央公民館講座〕，担当課：生涯学習課）

図書館事業【継続】

誰もが気軽に利用できる図書館を目指すことにより、利用者の増加につなげ、市民の読書意欲を高める。

- ・利用者が利用しやすい環境整備を行う。
- ・利用者のニーズに合った資料の購入や情報の提供、行事の開催等によりサービスの充実を図る。
- ・来館が難しい市民へのサービスを拡充する。

（障がい者サービス、移動図書館車「かぶとがに号」・島しょ部巡回文庫業務の充実、電子図書館の導入検討等）

- ・読書バリアフリーに配慮した読書環境を整備する。
- ・広域（高梁川流域連盟加盟自治体の住民、備後圏域の住民）に対する図書館サービスを行う。
- ・子ども（０～１５歳）の読書活動の推進を図る。
- ・学校図書館との連携を推進する。

令和７年度目標：図書の総貸出者数 ５４，８００人

図書館の総貸出冊数 ２５０，０００冊

（事業費：９３，５１０千円，担当課：生涯学習課）

重点5 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

家庭・地域・学校における人と人とのつながりの輪を広げる交流を盛んにするとともに、地域文化を高め、地域に誇りを持つことができるように地域全体で子どもの健やかな成長を見守りながら、地域ぐるみの教育支援を行います。

- ・関係機関等と連携を取りながら地域の人材育成に取り組む等、地域の教育力向上を図ります。
- ・コミュニティ・スクールと地域学校協働活動との連携を深め、一体的な推進を目指します。

地域学校協働本部事業【継続】

学校の支援活動を通じて、保護者、地域住民、学校関係者等の連携を深め、地域ぐるみで子どもを育てる体制を構築する。

- ・地域住民等の参画による学校教育を支援する組織を立ち上げ、子どもたちの学習支援、学校の環境整備や行事の支援を行うとともに、活動を通じて地域のつながりを強化する。

実施校：6中学校（笠岡東、笠岡西、金浦、新吉、大島、小北）、

14小学校（笠岡、中央、金浦、大井、城見、陶山、新山、吉田、神内、神島外、大島、北川、北木、六島）

令和7年度目標：実施日数 のべ3,200日

学校支援活動への参加者数 32,000人

（事業費：2,710千円、担当課：生涯学習課）

放課後子ども教室推進事業【継続】

児童生徒が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。

- ・地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、放課後等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する放課後子ども教室を実施する。

実施団体：4団体

令和7年度目標：実施団体数 5団体

実施日数 のべ300日

（事業費：698千円、担当課：生涯学習課）

土曜日教育支援事業【継続】

児童生徒が土曜日や休日等を安全・安心に過ごし、多様な学習や体験、交流活動を行えるように地域ぐるみで子どもを育てる体制を整備する。

- ・地域の多様な経験や技能を持つ人材等の協力を得て、土曜日や休日等を過ごす児童生徒に体験学習、学習支援、伝統文化体験等を提供する土曜日教育支援事業を実施する。

令和7年度目標：実施団体数 9団体

実施日数 のべ110日

（事業費：523千円、担当課：生涯学習課）

重点6 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。また、文化向上の拠点整備に努めます。

文化事業の充実【継続】

笠岡市さつき・新緑展、夏休み子ども体験教室、笠岡市文化祭、笠岡市芸能祭、笠岡市菊花展、笠岡市児童・生徒美術展の6事業を実施している。令和7年度は例年1月に開催している笠岡市児童・生徒美術展を笠岡市文化祭と同日開催とし、例年同時期に開催している笠岡市菊花展・笠岡市芸能祭も含め「笠岡市文化week（仮称）」と題して、市民に文化・芸術活動への参加を働きかけ、優れた文化・芸術に触れる機会を提供する。

また、公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団との共催事業として、全国大会出場者等に対して賞揚金を贈呈し、選手を激励する。また、世界大会・全国大会・中国大会成績優秀者に対し、文化特別賞を授与する。

・笠岡市さつき・新緑展ほか5事業を実施する。

令和7年度目標：文化事業参加者総数 3,700人

夏休み子ども体験教室開講教室数 10教室

（事業費：490千円、担当課：生涯学習課）

重点7 競技スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を目指すとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

プロスポーツ大会の誘致やトップアスリートを招致し、市民との交流などを通じてスポーツの魅力を身近に感じていただき、スポーツを行う機会を増やします。

（担当課：スポーツ推進課）

令和7年度目標：プロスポーツ大会の開催 3大会

基本施策１ 自立した子どもの育成

【重点施策は P 3に掲載】

事業名	いきいき交流スクール事業	予算額 (千円)	130	担当課	学校教育課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童	小規模校が増加する中で、子どもたちが授業等を通して、多様な考えや多くの人間性に触れる場を意図的、計画的に設定し、一人ひとりの子どもたちの主体的に学ぼうとする心情や豊かな感性の育成を図る。					
事業 内容	○複数の小規模校が教科の学習等をともに行うなど授業を通した学校間・地域間の交流活動を推進する。 ・いきいき交流スクール 参加校：神島外小学校、北木小学校、六島小学校 ・小規模校間の交流授業の推進 令和7年度目標：交流授業の実施3回						

基本施策2 共生の心の育成

【重点施策は P 4 に掲載】

基本施策2－（1）豊かな人間性を育む教育の充実

事業名	人権教育自立促進事業	予算額 (千円)	437	担当課	学校教育課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童、生徒	人権学習を通して正しい知識と理解をもち、様々な人権問題に真摯に向き合える人格の形成を図る。また、教科学習を通して、基礎学力を習得し、自らの力で進路を切り開いていく力を育てる。					
事業 内容	○日々の学習の充実と行事への参加を目標に学習を行う。 ・小学校学習会（5月～3月）…教科学習，人権学習 ・中学校学習会（5月～3月）…教科学習，人権学習 ・笠岡市人権文化祭への参加						

基本施策2－（2）健康教育の充実と食育の推進

子どもの心身の健康を保持、増進していくために、「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」の生活習慣の定着を図り、健康を大切にする意欲や態度を育て、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく実践力の育成に努めます。

学校給食において、安全・安心を最優先に徹底した衛生管理に努め、学校・家庭と連携し、栄養教諭による食育指導や食に関する情報提供・情報発信を行い、望ましい食習慣の確立に努めます。

事業名	地産地消を推進する食育啓発事業		予算額 (千円)	—	担当課	学校給食センタ —	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	児童、生徒、保護者	学校給食を生きた教材として捉え、「食」がつなぐ社会の仕組みや課題を理解し、学校・家庭・地域と連携しての地産地消の食育を推進する。						
事業 内容	○地元生産者等と連携し、笠岡産や岡山県産といった身近な食材を積極的に献立に取り入れ、地産地消への関心を深めるとともに、学校給食だけでなく家庭においても地産地消に取り組むための情報提供を行う。 ○「食」が繋ぐ社会の仕組みを理解し、身近な食品ロスといった「食」に関する環境問題や社会問題の解決に取り組める食育指導を行う。 ・地産地消週間における地産地消食材の積極的な活用 令和7年度目標：地産地消食材の活用実施 金額ベース65%以上 ・SDGs等、身近な課題として取り組む食育指導の実施 令和7年度目標：食育指導 全クラス							

基本施策・主要事業

事業名	健康教育の推進・啓発事業	予算額 (千円)	—	担当課	学校給食センタ —	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童，生徒，保護者	基本的な生活習慣を身につけるとともに、必要とされる質・量・栄養を摂取し、自己の健康管理に取り組む姿勢を育てる。					
事業 内容	○「早寝・早起き・あいさつ・朝ごはん」運動を推進し、学校・家庭と連携し、基本的な生活習慣、特に食習慣に関心をもち、自分で健康管理に取り組める食育を行う。						
	○心身の成長に必要な栄養を理解し摂取できる献立内容に努める。						
事業 内容	○学校給食は生きた教材であり、一日の食生活の一部であることを理解し、家庭においても栄養バランスのとれた食事が実践できるよう情報提供を行う。						
	・朝食摂取に関するアンケートと実態把握 令和7年度目標：毎日の朝食摂取率アンケート81.0%以上						
事業 内容	・残食率の調査と適切な栄養摂取指導 令和7年度目標：学校給食の提供量に対する残食率16.0%以下						
	・「献立による学校給食指導年間計画表」等による行事食、郷土食、児童生徒の希望献立の実施 令和7年度目標：全校						
事業 内容	・給食試食会、施設見学の実施						
	・給食だより、動画等による食の情報提供、情報発信 令和7年度目標：月1回以上						

基本施策３ 郷土愛の育成

【重点施策は P 5に掲載】

事業名	ウェブサイトによる情報発信事業	予算額 (千円)	—	担当課	学校教育課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	小学校、中学校	インターネットを利用し、学校を紹介するとともに、お知らせや教育方針等の情報を積極的に発信することにより、地域に開かれた学校づくりを図る。					
事業 内容	○全小、中学校に整備したウェブサイトを活用し、教育内容の公開、更新を行い、学校の方針や教育内容について広報し、学校教育への理解を図る。 令和7年度目標：全ての学校がウェブサイトを活用、公開、更新。						

事業名	いきいきオープンスクール事業	予算額 (千円)	—	担当課	学校教育課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童、生徒、保護者、地域住民	市内の小、中学校の教育活動の現状を一定期間、一斉に公開し、地域に開かれた信頼される学校を実現するため、学校が保護者や地域住民の意見や要望を的確に把握し、家庭や地域社会と連携協力を図る。					
事業 内容	○令和7年11月上旬に、児童生徒のすべての教育活動を公開し、アンケート等により、地域の方の要望や意見を聞く。 R6いきいきオープンスクール参加率 保護者 43.8%（保護者参加数／児童生徒数） 保護者以外 24.0%（保護者以外参加数／児童生徒数） 令和7年度目標： 保護者 50.0% 保護者以外 25.0%						

基本施策4 小中一貫教育及び学校規模適正化の実施

事業名	笠岡市小中一貫教育推進事業【継続】	予算額 (千円)	8,030	担当課	学校教育課・教 育改革推進室	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童、生徒、保護者、地域住民	義務教育9年間の枠組みの中で一貫した指導や支援を行い、子どもの「学 び」や「育ち」の連続性を保障した小中一貫教育を推進していく。また、こ 保、幼等就学前機関との連携も強化し、切れ目のない教育を行う。					
事業 内容	○笠岡市小中一貫教育推進計画の見直し ○笠岡市小中一貫教育推進計画改訂版の作成 令和7年度目標：学園のめざす子供像と、その達成のために育成したい資質・能力を意識した指導を行っている。（教職 員アンケート）「そう思う」の割合 40%						

事業名	学校規模適正化計画の実施【継続】	予算額 (千円)	—	担当課	学校教育課・教 育改革推進室	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童、生徒、保護者、地域住民	学校規模適正化計画の基本方針及び今後の児童生徒数の推移を踏まえて、一定規模の児童生徒数を確保する中で望ましい教育環境を提供できるよう適正配置計画を推進する。ただし、今後、児童生徒数が基準を満たない状況が見込まれる場合は計画の随時見直しをすることとする。					
事業 内容	○笠岡市立小・中学校の学校規模適正化計画書改訂版の完成 ○保護者・地域への説明会の実施 令和7年度目標：統合についてのアンケートの実施、統合に向けた準備委員会の立ち上げ・協議開始						

基本施策5 学校施設等の整備

学習及び生活の場として、良好な環境を確保するとともに、安全性を備えた施設環境を形成することができるよう、施設整備に努めます。また、今年度改訂された「学校規模適正化計画」に基づき、中期的な観点から効果的・効率的な施設整備に取り組みます。

事業名	小中学校空調設置事業		予算額 (千円)	110,000	担当課	教育総務課	区 分	拡 充
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	児童、生徒	学校における熱中症等の健康被害を予防し、児童生徒が健康的に学習できる教育環境の向上を図る。						
事業 内容	○改訂された学校規模適正化計画での今後の学校配置を踏まえたうえで、学校の要望に基づき、特別教室に空調を設置する。 令和7年度目標：設置校数（室数） 小学校8校（12室）、中学校5校（10室）							

事業名	小中学校バリアフリー化推進事業	予算額 (千円)	2,000	担当課	教育総務課	区分	拡充
事業目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	すべての児童、生徒	安心安全な学校生活を送ることができるよう学校施設のバリアフリー化を進める。					
事業内容	○個別対応が必要な児童生徒が通う学校への対応を最優先にしながら、小中学校にスロープ等を設置しバリアフリー化を推進する。 令和7年度目標：スロープ等による段差解消（昇降口・玄関などから教室まで） 工事実施校 3校、実施完了校の割合 50%以上（令和6年度末 33.3%）						

基本施策6 市民誰もが学びたいときに学ぶことができる機会の提供

【重点施策は P 6に掲載】

事業名	公民館活動助成事業	予算額 (千円)	5, 358	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	すべての市民	市民の主体的な参加のもとに行う各公民館独自の活動事業を積極的に推進することにより、心豊かでたくましい人間尊重のまちづくりを実現し、地域の課題解決を図ることができる。					
事業 内容	○地域ぐるみの社会参加活動の実施 ○生涯学習を進める住民大会の実施 ○ボランティア活動の実施 ○学習サークル活動の実施	○地域のネットワークづくり活動の実施 ○その他生涯学習まちづくり活動の実施 ○子どもから高齢者まで幅広い年齢層の参加できる事業を実施					
	令和7年度目標：新規助成事業 助成事業参加者数	10事業 20,000人					

事業名	まちづくり出前講座		予算額 (千円)	—	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	すべての市民	多様な学習ニーズに応じた柔軟な学びの機会を確保し、市民の主体的な学習を促進する。						
事業 内容	○市民が学びたい講座等を選択し、市職員やボランティア等が講師となり出向いて講話や実習を行う。令和7年度は77講座を実施する。また、出前講座受講者へのアンケート等により、ニーズをくみ取り、講座内容の充実を図る。 令和7年度目標：受講者数 12,500人 開催数 340回							

事業名	学びの情報発信事業	予算額 (千円)	130	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	すべての市民	学習や体験活動に関する情報をタイムリーかつわかりやすく発信することで、学びへの参加のきっかけをつくり、市民の主体的な学びと家庭・地域での活動を促進する。					
事業 内容	○情報誌を発行し、子どもの体験活動機会や家庭教育の支援に関する情報を提供し、児童の参加を促すとともに保護者の参加意欲を促進する。 ○年齢や関心に応じて、WEB・SNS等多様な手段での情報提供を強化。 ○他部署と連携した発信情報の拡充と年間通じた情報更新体制の構築。 令和7年度目標：生涯学習カレンダー 年2回発行 子ども向け情報発信のデジタル化						

基本施策7 生涯学習によるまちづくり

「学びをまちづくりへ活かす」循環の仕組みづくりとして、市民の学習成果を地域で共有・発信し、協働・共感を促進し地域課題の解決や人と人とのつながりを育みます。

事業名	生涯学習 フェスティバル	予算額 (千円)	700	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	生涯学習に取り組む市民・団体	活動成果を発表・共有する機会を創出し、活動の広がりや人と人のつながりにつなげる。					
事業 内容	○出展団体による舞台発表、展示発表、体験、販売など学習の成果を発表する。 ○生涯学習功労者を選出し表彰する。 令和7年度目標：参加団体 65団体 参加者数 1, 400人（第7次総合計画後期基本計画目標値）						

基本施策 8 家庭・地域・学校と一体となった地域ぐるみの教育支援

【重点施策は P 7 に掲載】

事業名	青少年健全育成事業	予算額 (千円)	432	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	各地区青少年健全育成協議会	地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。					
事業 内容	○地区組織が補導活動、環境浄化活動、健全育成活動、啓発広報活動を実施することで、青少年の健全育成を推進する。 令和7年度交付団体：9団体（笠岡東、笠岡、笠岡西部、新吉、大島、神島外浦・高島・白石、北木、六島、小北） 令和7年度目標：交付団体数 9団体（現在の交付団体数の維持） 青少年育成運動推進指導員及び推進員数 9人						

事業名	青少年宿泊体験事業（北木島宿泊研修所）	予算額 (千円)	5, 530	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、市外居住者	北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。					
事業 内容	○北木島特有の地域資源を活用した学習及び交流を提供することで、青少年の健全育成を推進するとともに地域の活性化に寄与する。 北木島宿泊研修所を指定管理によって運営する。 令和7年度目標：施設利用者数 1, 000人 市内学校利用件数 9件						

基本施策 9 社会教育に取り組む市民や団体との協働と支援

地域が主体となる社会教育活動を支援・促進し、多様な学びの機会と地域コミュニティの活性化を図ります。

事業名	社会教育関係団体の連携支援		予算額 (千円)	0	担当課	生涯学習課	区 分	新 規
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	市民、市民団体、社会教育関係団体	市民や団体の活動を支援・つなぎ、行政と協働して社会教育活動を広げていく。						
事業 内容	○社会教育関係団体が行う活動と、それを必要としている人・団体とのマッチング支援を行う。 ○協働事業の立案支援や実施のサポート ○市民活動支援センターや他部署との連携体制の構築 令和7年度目標：連携支援数 2件							

基本施策 10 文化財の保護・活用

文化財を総合的に保護・活用するための「笠岡市歴史文化基本構想」に基づき、保護と活用の一体的な取組を進めていきます。

また、文化財と関わることで、地域への理解や愛着を深め、交流や連携を推進する契機となるような取組を実施します。

事業名	文化財保護・活用事業		予算額 (千円)	7,791	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	市民、一般	歴史文化基本構想に基づいて文化財の調査を行い、重要なものは指定・保護して後世に伝えとともに、公開活用を促進し、歴史文化を活かしたまちづくりを行うことによって、笠岡市の文化及び魅力と活力の向上を図る。						
事業 内容	○歴史文化を守り、育て、伝える。 ・文化財の調査・指定・登録を行い、その価値を明らかにする。（祭り行事調査） ・文化財を適切に保存管理する。（遍照寺の枝垂れいちよう、真鍋大島のイヌグス保護措置） ・指定文化財保護のため補助金を支出する。（重要無形民俗文化財保存事業補助金等） ・埋蔵文化財の発掘調査報告書作成に努める。（笠岡本町遺跡報告書作成準備） ・文化財施設（敬業館、関戸廃寺、遍照寺多宝塔、長福寺裏山古墳群ほか）の管理を行う。 ・保存活用計画の策定（津雲貝塚保存活用計画策定準備会議） ○歴史文化を効果的に活かす。 ・歴史文化の情報を発信する。（郷土館、井笠鉄道記念館、文化財説明板整備、文化財クリアファイル、講演会ほか） ・歴史文化を子どもたちに伝える（学校への情報提供） ・日本遺産「知ってる!? 悠久の時間が流れる石の島」に関する人材育成、普及啓発、調査研究、公開活用を推進する。 ○歴史文化を守り、育み、活かすための基盤をつくる。 ・後継者や担い手の育成を図る。（白石踊後継者育成事業） ・文化財ガイドを養成する。（笠岡市観光ガイドボランティア、石の島ガイド）							
	令和7年度目標：文化財保護・調査件数 40件 文化財普及・活用件数 40件							

基本施策 1 1 竹喬美術館の活性化と館蔵品の充実

美術館設立の趣旨を基本に、市民のニーズを踏まえた魅力的で多様な企画展の開催や環境づくりにより、市民が何度でも訪れたい場所へと変革していきます。

- ・幼児・児童・生徒の来館促進
- ・市民が見る、知る、体験する場と機会の創出
- ・電子媒体の活用促進

事業名	展覧会事業	予算額 (千円)	32, 132	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、来館者	市民が見る、知る、体験する場と機会を得られるようにする。 文化向上を図る。					
事業 内容	○テーマ展「竹喬美術館ゆかりの画家たち」 ○特別展「絵本作家 いわむらかずお」 ○特別展「知られざる竹喬 ―新出作品と新資料から―」 ○テーマ展「竹喬美術館 春夏秋冬」 令和7年度目標値：入館者数 16, 800人 ワークショップ開催数 6回						

事業名	各種イベント開催事業	予算額 (千円)	428	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、来館者	見る、知る、体験する場と機会を得られるようにする。 文化向上を図る。					
事業 内容	○ギャラリートーク ○「絵本作家 いわむらかずお」 読み聞かせ ○「知られざる竹喬」 講演会 ○子ども向け企画 子ども絵画教室 ○図書館特集コーナー展示との協力 令和7年度目標値：イベント開催回数 18回 イベント参加者数 190人						

基本施策 1 2 芸術文化活動の振興・交流と担い手の育成

【重点施策は P 8 に掲載】

市民参加による幅広い自主的な創作活動を促進し、若者の視点も踏まえて、優れた文化・芸術にふれあう機会を増やします。また、文化向上の拠点整備に努めます。

事業名	能・狂言体験学習	予算額 (千円)	263	担当課	生涯学習課	区分	継続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童、生徒	小、中学生の伝統芸能への関心・理解を深め、豊かな情操を育むとともに、 将来の文化活動を担う人づくりを推進する。					
事業 内容	○平成 22 年度開催の国民文化祭の継承事業として、日本の伝統芸能である能・狂言の体験学習を小、中学校において実施する。派遣した能楽師や狂言師の指導により、総合的な学習や歴史・国語の授業の一環として、児童生徒が能・狂言を体験したり、発表したりする。 令和 7 年度目標：体験コース（能） 2 校（2 時間× 1 回） （狂言） 3 校（2 時間× 1 回） 継続発表コース（狂言） 1 校（2 時間× 7 回）						

事業名	笠岡市木山捷平文学選奨	予算額 (千円)	1, 200	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、一般	笠岡市出身の小説家木山捷平氏の業績を顕彰することで、文芸創作活動の 活発化と、文芸創作活動をする市民の増加を図る。					
事業 内容	○短編小説、随筆、詩、短歌、俳句、川柳の6部門で作品を募集する。短編小説は全国公募を行い、その他は市内公募を 継続しつつ、令和4年度から過去に市内に在住・在学又は勤務地のあった方を応募資格に加えた。公募の範囲について は今後の事業継続・充実に向け、対象を検討する。優れた作品は表彰の上、作品集に掲載し発行する。 令和7年度目標：短編小説応募者数 200人 その他5部門の応募者総数 2, 800人						

事業名	郷土文学者顕彰事業	予算額 (千円)	337	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、一般	郷土の優れた文学者の業績を顕彰し、文学資料を保存・展示することにより郷土の文学振興に寄与し、ひいては笠岡の魅力を広く発信する。					
事業 内容	○木山捷平及び森田思軒関連の文学資料を整理し保存・展示する。 ○森田思軒顕彰講演会 日時：令和7年11月開催予定 ○木山捷平生家の管理 令和7年度目標：森田思軒講演会参加者数 40人						

基本施策 13 カブトガニの保護とカブトガニ博物館の運営

事業名	カブトガニ繁殖回復と保護担い手育成事業	予算額 (千円)	6,990	担当課	生涯学習課	区分	継続
事業目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市内外の子どもたち・家庭、 保護活動に関心のある市民	カブトガニの繁殖力を回復させるため、幼生の飼育・放流を計画的に実施するとともに、市民や児童生徒が保護活動に実践的に関わる機会を通じて、将来の担い手を育成し、保護意識の定着を図る。					
事業内容	○市内外の幼・小・中学生、一般の方々による幼生放流　幼生放流数：270匹（令和6年度実績） ○飼育池で産卵した卵を人工ふ化する。 ○飼育施設の改修工事を行う。 令和7年度目標：幼生放流数　1,000匹以上						

事業名	繁殖地保全と地域協働による保護活動事業	予算額 (千円)	4, 193	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	地域住民, ボランティア, 関係団体, 学校関係者, 企業	参加型の調査・監視・啓発活動を通じて、地域一体となった保護意識を醸成し、自然環境を守る行動を広げていく。					
事業 内容	○カブトガニ保護啓発運動 令和7年5月10日 ○リフレッシュ瀬戸内 令和7年6月15日 ○保護監視活動 4月～11月 ○干潟での目視による調査 令和6年度実績 幼生調査 153匹確認 繁殖地内での自然産卵確認 4カ所 成体調査 75匹確認 令和7年度目標：保護啓発運動参加者数 280人 保護監視活動回数 50回						

事業名	展示等による普及啓発事業	予算額 (千円)	562	担当課	生涯学習課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民、観光客、 子どもから大人までの幅広い来館者	展示や体験を通じて楽しみながら学ぶ機会を提供し自然環境やカブトガニ に対する理解と関心を深めるとともに、学びの継続や保護活動への参加へと つなげる。					
事業 内容	○特別展示「Let's Beach Combing」展 令和7年7月19日～9月28日 令和7年度目標：来館者数 60,000人 自然観察イベントの回数 5回						

事業名	情報発信強化と来館促進による魅力向上事業		予算額 (千円)	44	担当課	生涯学習課	区分	継続
事業目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	市内外の潜在的来館者、SNS等で情報を受け取る市民・教育関係者・研究者	多様な媒体を活用して博物館の魅力や活動を効果的に発信し、博物館とカブトガニ保護の魅力や活動内容を広く周知し、来館促進や地域の自然学習拠点としての認知度向上につなげる。						
事業内容	○隣都市圏への重点的なプロモーション ○博物館ホームページの内容の充実を図るとともに、SNS等の多様な媒体を活用した情報発信を行う。 令和6年度実績：フェイスブック投稿回数 8、X（旧ツイッター）投稿数221 令和7年度目標：フェイスブック投稿回数20、X（旧ツイッター）投稿数220							

基本施策 14 生涯スポーツの推進

体力づくりや生きがいと健康づくりを重視し、年齢、性別、障がいの有無等に関わらず、日頃運動不足になりがちな人たちも、誰もが気軽に楽しめるスポーツを推進します。また、SNSなどを積極的に利用して広く情報発信を行うとともに、提供する情報内容の充実を図ります。

事業名	地域スポーツ活動事業	予算額 (千円)	1,171	担当課	スポーツ推進課	区 分	継 続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民	障がいの有無に関わらず、誰でもスポーツが楽しめるまちづくりを目指して、住民に対するスポーツ実技の指導を推進し、スポーツ活動の盛んな地域コミュニティの醸成を図る。					
事業 内容	○誰もがスポーツに親しむまちづくりを推進するため、スポーツ推進委員を地域に派遣する。 ○スポーツ普及活動（実技指導）を実施する。 ○定期的な軽運動やニュースポーツを楽しめる機会の提供（スポレク事業） ○障がい者スポーツの推進 ○スポーツ推進委員と共同して、障がいの有無にかかわらず参加できる大会の開催やニュースポーツに触れる機会を提供する 令和7年度目標：ニュースポーツ大会の開催 年2回 うち障がい者参加目標 20人						

事業名	スポーツ情報提供事業	予算額 (千円)	15	担当課	スポーツ推進課	区分	継続
事業目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民	イベント情報やスポーツ団体を紹介することで、スポーツに関わる人口の増加を図る。					
事業内容	○市内のスポーツイベントや大会等の行事内容を広報するスポーツカレンダーを発行する。 ○各種スポーツ団体の活動内容を紹介するスポーツサークルを発行する。 ○笠岡市LINE 申請システムや、市ホームページ、SNSを通じて施設情報、イベント情報などの情報発信を行う。 令和7年度目標：スポーツカレンダーの発行回数 年4回 スポーツ推進課 Instagram への掲載回数 年20回						

基本施策 15 競技スポーツの推進

各種スポーツ大会を開催することにより、スポーツレベルの向上を行うとともに競技人口の増加を図ります。また、プロスポーツの大会等を誘致し開催することで、トップアスリートの競技を観て学べるよう、観戦機会の拡大に努めます。

【重点施策は P 8に掲載】

事業名	スポーツ賞揚事業	予算額 (千円)	780	担当課	スポーツ推進課	区分	継続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民，出場者	激励会の開催や懸垂幕の掲揚，またスポーツ賞揚金の贈呈により，出場選手を激励し，競技レベルの向上を図る。					
事業 内容	○全国大会出場者等を市庁舎に設置している掲示板に掲示し，選手を激励する。（笠岡市文化・スポーツ振興財団より賞揚金） ○世界大会・全国大会・中国大会成績優秀者を賞揚する。（笠岡市文化・スポーツ振興財団より特別賞） ○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団との共催事業として，国際大会，全国大会及び中国大会出場者に対して賞揚金を贈呈し，選手を激励する。 令和7年度目標：賞揚件数120件						

事業名	市民スポーツ振興事業	予算額 (千円)	2,630	担当課	スポーツ推進課	区分	継続
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	市民	競技スポーツの強化を中心に総合的なスポーツ推進を図る。					
事業 内容	○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団や笠岡市スポーツ協会と連携して、スポーツイベントの活性化を図るため、市民スポーツ大会、カブトガニ駅伝大会、べいふあーむマラソン大会を実施する。 ・笠岡市スポーツ協会に事業委託 令和7年度目標：カブトガニ駅伝大会 260 人、べいふあーむマラソン大会参加者数 1,700 人（うち障がい者 20 人）						

事業名	スポーツ教室事業	予算額 (千円)	441	担当課	スポーツ推進課	区分	継続
事業目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）					
	児童・幼児	生涯にわたって健康や体力を保持していくことができるよう、子どもたちにスポーツの楽しさを伝える。 9歳から12歳頃のゴールデンエイジに運動に親しむ子どもを増やす。					
事業内容	○公益財団法人笠岡市文化・スポーツ振興財団や笠岡市スポーツ協会と連携して、各種スポーツ教室を開催し、体の使い方や動き方を教え、スポーツの楽しさを知ってもらう。 令和7年度目標：スポーツ教室参加人数 150人						

基本施策 16 スポーツ施設の整備・充実と活用

総合的かつ計画的な施設整備を進め、既存施設の充実・活用を図って利用しやすい環境を整えます。また、経年劣化部分を修復することにより、施設の長寿命化を図ります。

事業名	笠岡総合スポーツ公園テニスコート照明		予算額 (千円)	773	担当課	スポーツ推進課	区分	新規
事業 目的	対象（誰を）	意図（どのようにしたいのか）						
	市民	施設の経年劣化部分を定期的に修復することで、施設の長寿命化を図る。						
事業 内容	○一部不点灯が起きている笠岡総合スポーツ公園テニスコートのLED照明を更新する。 (令和7年度から10年リース、令和7年度は6カ月分の予算を計上)							